

平成25年(2013年) 4～6月期平均の結果

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出 >

総世帯は,	244,925 円		
前年同期比	名目 0.5%の減少	実質 0.3%の減少	
二人以上の世帯は,	285,388 円		
前年同期比	名目 0.4%の減少	実質 0.2%の減少	
単身世帯は,	150,459 円		
前年同期比	名目 0.4%の減少	実質 0.2%の減少	

< 1世帯当たりの1か月平均の消費支出(除く住居等) >

総世帯は,	前年同期比	実質 0.8%の増加
二人以上の世帯は,	前年同期比	実質 1.0%の増加
単身世帯は,	前年同期比	実質 0.9%の増加

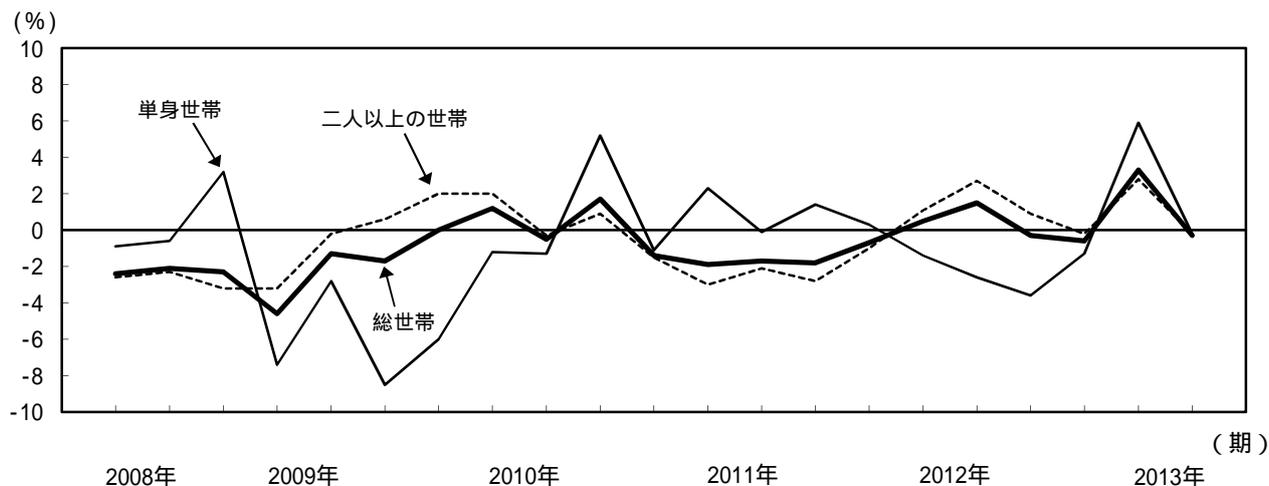
：「住居」のほか、「自動車等購入」、「贈与金」、「仕送り金」を除いている。また、実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。以下同じ。

< 勤労者世帯の収支 >

総世帯は,	実収入	前年同期比	実質 0.4%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 0.3%の減少
	消費支出	前年同期比	実質 0.9%の増加
	平均消費性向	70.6	%
二人以上の世帯は,	実収入	前年同期比	実質 2.2%の増加
	可処分所得	前年同期比	実質 1.6%の増加
	消費支出	前年同期比	実質 1.1%の増加
	平均消費性向	72.9	%

消費支出の推移

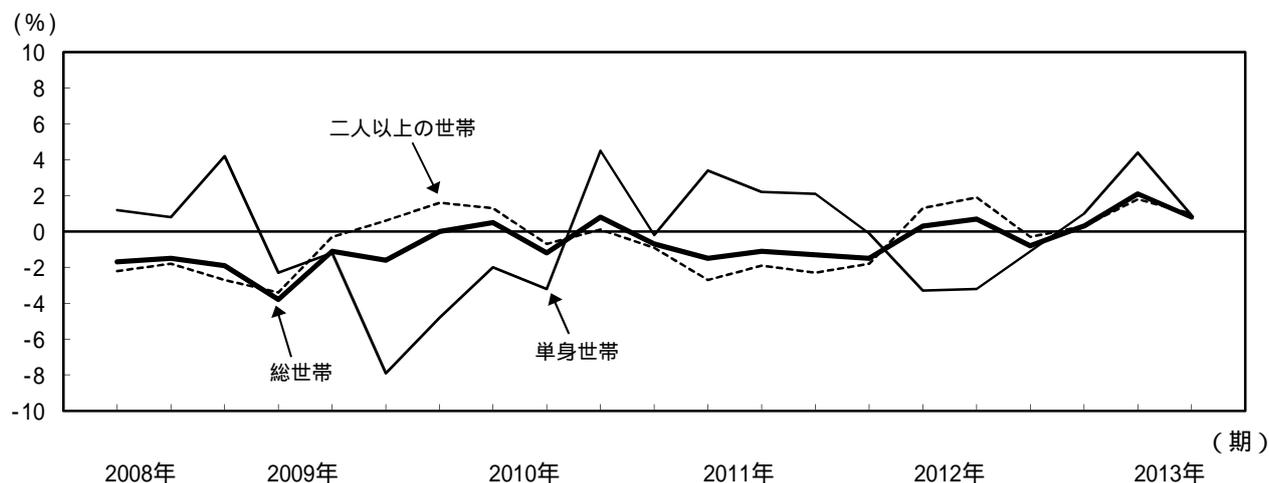
図1 消費支出の対前年同期実質増減率の推移



消費支出	2010年			2011年				2012年				2013年	
	1-3	4-6	7-9	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
総世帯	-0.5	1.7	-1.4	-1.9	-1.7	-1.8	-0.7	0.5	1.5	-0.3	-0.6	3.3	-0.3
二人以上の世帯	-0.3	0.9	-1.5	-3.0	-2.1	-2.8	-1.0	1.1	2.7	0.9	-0.2	2.8	-0.2
単身世帯	-1.3	5.2	-1.1	2.3	-0.1	1.4	0.3	-1.4	-2.6	-3.6	-1.3	5.9	-0.2

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図2 消費支出（除く住居等）の対前年同期実質増減率の推移

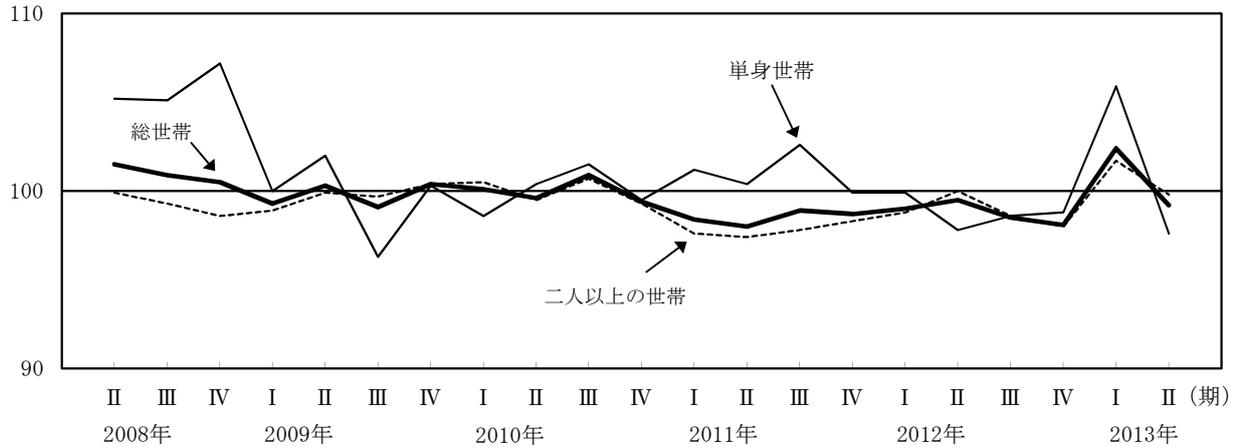


消費支出(除く住居等)	2010年			2011年				2012年				2013年	
	1-3	4-6	7-9	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
総世帯	-1.2	0.8	-0.7	-1.5	-1.1	-1.3	-1.5	0.3	0.7	-0.8	0.3	2.1	0.8
二人以上の世帯	-0.7	0.1	-0.9	-2.7	-1.9	-2.3	-1.8	1.3	1.9	-0.3	0.3	1.8	1.0
単身世帯	-3.2	4.5	-0.2	3.4	2.2	2.1	-0.1	-3.3	-3.2	-1.1	1.0	4.4	0.9

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

図3 消費支出（季節調整済実質指数）の推移

(2010年=100)

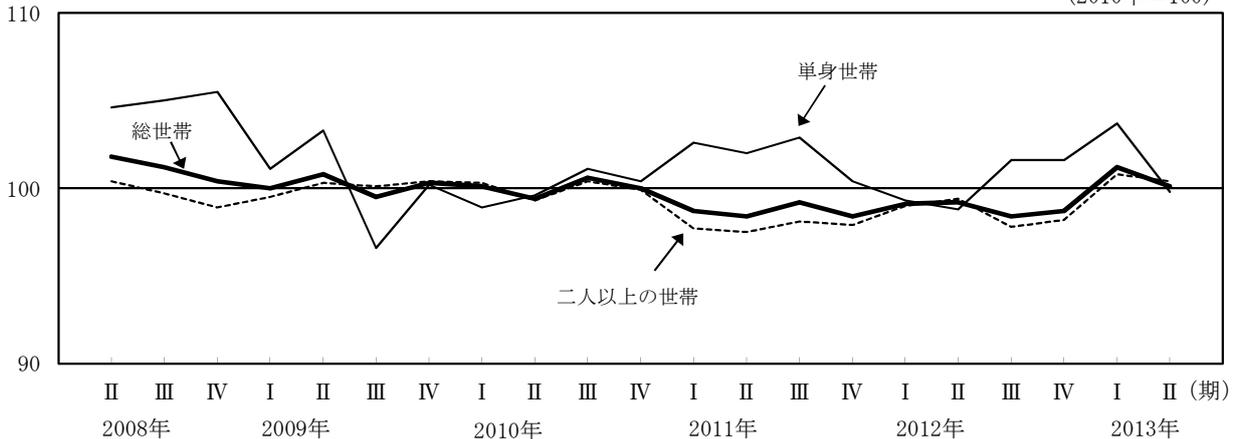


消費支出	2010年			2011年				2012年				2013年	
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II
総世帯	99.6	100.9	99.4	98.4	98.0	98.9	98.7	99.0	99.5	98.5	98.1	102.4	99.2
対前期変化率(%)	-0.5	1.3	-1.5	-1.0	-0.4	0.9	-0.2	0.3	0.5	-1.0	-0.4	4.4	-3.1
二人以上の世帯	99.5	100.7	99.3	97.6	97.4	97.8	98.3	98.8	100.0	98.6	98.0	101.7	99.8
対前期変化率(%)	-1.0	1.2	-1.4	-1.7	-0.2	0.4	0.5	0.5	1.2	-1.4	-0.6	3.8	-1.9
単身世帯	100.4	101.5	99.5	101.2	100.4	102.6	99.9	99.9	97.8	98.6	98.8	105.9	97.6
対前期変化率(%)	1.8	1.1	-2.0	1.7	-0.8	2.2	-2.6	0.0	-2.1	0.8	0.2	7.2	-7.8

- 注1 Iは1～3月期，IIは4～6月期，IIIは7～9月期，IVは10～12月期を表す。
 2 季節調整の方法は，センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。
 3 季節調整値は，1～3月期結果公表時に，過去に遡って改定している。

図4 消費支出（除く住居等*）（季節調整済実質指数）の推移

(2010年=100)



消費支出(除く住居等*)	2010年			2011年				2012年				2013年	
	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II
総世帯	99.4	100.6	100.0	98.7	98.4	99.2	98.4	99.1	99.2	98.4	98.7	101.2	100.1
対前期変化率(%)	-0.7	1.2	-0.6	-1.3	-0.3	0.8	-0.8	0.7	0.1	-0.8	0.3	2.5	-1.1
二人以上の世帯	99.3	100.4	99.9	97.7	97.5	98.1	97.9	99.0	99.4	97.8	98.2	100.8	100.4
対前期変化率(%)	-1.0	1.1	-0.5	-2.2	-0.2	0.6	-0.2	1.1	0.4	-1.6	0.4	2.6	-0.4
単身世帯	99.6	101.1	100.4	102.6	102.0	102.9	100.4	99.3	98.8	101.6	101.6	103.7	99.8
対前期変化率(%)	0.7	1.5	-0.7	2.2	-0.6	0.9	-2.4	-1.1	-0.5	2.8	0.0	2.1	-3.8

- 注1 Iは1～3月期，IIは4～6月期，IIIは7～9月期，IVは10～12月期を表す。
 2 季節調整の方法は，センサス局法(X-12-ARIMAのX-11デフォルト)を用いた。
 3 季節調整値は，1～3月期結果公表時に，過去に遡って改定している。

総世帯（「二人以上の世帯」と「単身世帯」を合わせた世帯）

1 消費支出とその内訳

表1 消費支出の内訳（2013年4～6月期 - 総世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減率への寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	244,925	-0.5	-0.3	-0.3		2期ぶりの実質減少
食料	58,381	1.9	3.3	0.77	<増加> 外食, 野菜・海藻など	2期連続の実質増加
住居	18,221	-3.8	-3.4	-0.26	<減少> 設備修繕・維持, 家賃地代	2期ぶりの実質減少
光熱・水道	18,428	-1.6	-5.6	-0.43	<減少> 電気代, ガス代など	2期連続の実質減少
家具・家事用品	8,331	2.9	5.6	0.19	<増加> 家庭用耐久財, 寝具類など	18期連続の実質増加
被服及び履物	10,284	3.1	3.0	0.12	<増加> 洋服, 和服など	2期連続の実質増加
保健医療	10,688	5.4	6.1	0.25	<増加> 保健医療サービス, 保健医療用品・器具	4期連続の実質増加
交通・通信	32,417	-6.6	-7.2	-1.02	<減少> 自動車等関係費	6期ぶりの実質減少
教育	9,121	-8.7	-9.2	-0.37		
教養娯楽	26,151	1.3	3.1	0.32	<増加> 教養娯楽サービス, 教養娯楽用耐久財など	3期連続の実質増加
その他の消費支出	52,905	0.7	(0.9)	(0.18)	<増加> 諸雑費, こづかい	2期連続の増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。

3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類

品目

<減少項目>

実質寄与度

自動車等関係費	[-1.07]	自動車購入, 自動車保険料(任意)
電気代	[-0.28]	
設備修繕・維持	[-0.19]	給排水関係工事費
ガス代	[-0.14]	プロパンガス, 都市ガス

<増加項目>

外食	[0.24]	洋食, 飲酒代
諸雑費	[0.22]	葬儀関係費, 祭具・墓石
保健医療サービス	[0.21]	歯科診療代, 医科診療代
教養娯楽サービス	[0.20]	外国パック旅行費, インターネット接続料
野菜・海藻	[0.16]	トマト, キャベツ
肉類	[0.13]	牛肉, 豚肉
家庭用耐久財	[0.12]	電気洗濯機, 電気掃除機

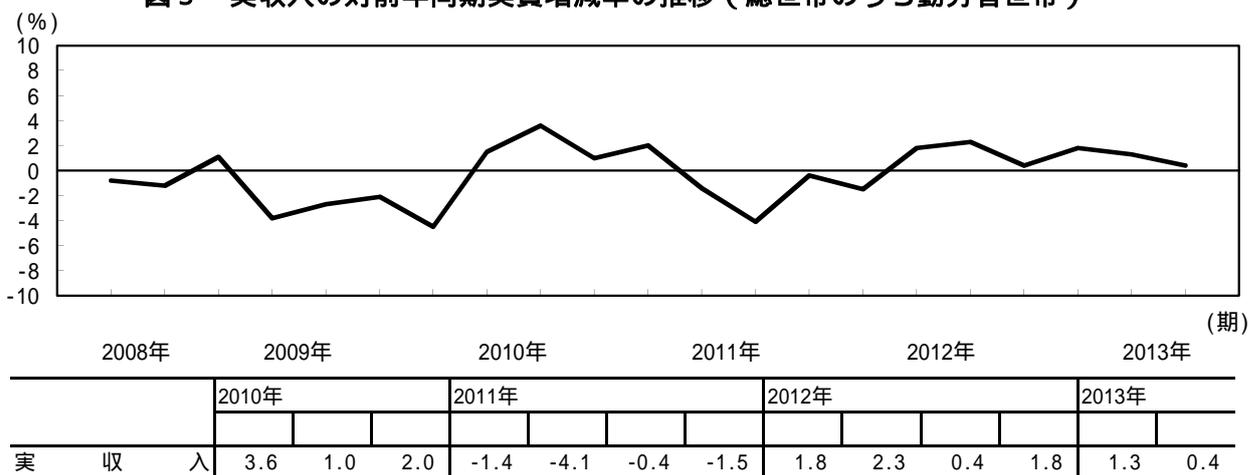
注 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

2 勤労者世帯の収支

表2 収支の内訳（2013年4～6月期 - 総世帯のうち勤労者世帯）

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	487,933	0.2	0.4	0.4	6期連続の実質増加
世 帯 主 収 入	397,143	-0.7	-0.5	-0.45	3期ぶりの実質減少
定 期 収 入	323,259	-1.7	-1.5	-0.99	2期ぶりの実質減少
臨 時 収 入・賞 与	73,884	3.5	3.7	0.54	3期連続の実質増加
配 偶 者 の 収 入	46,748	8.6	8.8	0.78	7期連続の実質増加
う ち 女 性	46,373	8.8	9.0	0.79	7期連続の実質増加
他 の 世 帯 員 収 入	7,178	4.2	4.4	0.06	3期連続の実質増加
非 消 費 支 出	100,083	3.1	-	-	8期連続の増加
可 処 分 所 得	387,850	-0.5	-0.3	-	3期ぶりの実質減少
消 費 支 出	273,630	0.7	0.9	-	2期連続の実質増加
平均消費性向(%)	70.6	(前年同期) 69.7	(ポイント差) 0.9		

図5 実収入の対前年同期実質増減率の推移（総世帯のうち勤労者世帯）



注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

二人以上の世帯

1 消費支出とその内訳

表3 消費支出の内訳(2013年4～6月期 - 二人以上の世帯)

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘 要	備 考
		名 目	実 質			
消 費 支 出	285,388	-0.4	-0.2	-0.2		2期ぶりの実質減少
食 料	67,606	2.3	3.8	0.87	<増 加> 外食,野菜・海藻など	3期連続の実質増加
住 居	18,306	-2.9	-2.5	-0.16	<減 少> 家賃地代	2期ぶりの実質減少
光 熱 ・ 水 道	21,642	-2.3	-6.2	-0.48	<減 少> 電気代,ガス代など	2期連続の実質減少
家具・家事用品	9,901	2.2	4.9	0.17	<増 加> 家庭用耐久財,家事用消耗品など	9期連続の実質増加
被服及び履物	12,101	5.3	5.2	0.21	<増 加> 洋服,和服など	2期連続の実質増加
保 健 医 療	12,624	4.5	5.2	0.22	<増 加> 保健医療サービス,保健医療用品・器具	2期ぶりの実質増加
交 通 ・ 通 信	38,281	-6.4	-7.1	-1.00	<減 少> 自動車等関係費,交通	6期ぶりの実質減少
教 育	13,014	-8.4	-8.9	-0.44	<減 少> 授業料等,補習教育など	2期ぶりの実質減少
教 養 娯 楽	29,605	1.7	3.5	0.35	<増 加> 教養娯楽サービス,教養娯楽用耐久財など	2期連続の実質増加
その他の消費支出	62,309	0.5	(0.7)	(0.16)	<増 加> 諸雑費,こづかい	2期連続の増加

注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。

2 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中 分 類	実質寄与度		品 目
< 減少項目 >			
自動車等関係費	[-1.03]	自動車購入,自動車保険料(任意)
授業料等	[-0.37]	私立大学,幼稚園
家賃地代	[-0.30]	公営家賃,民営家賃
電気代	[-0.29]	
交際費	[-0.19]	贈与金
< 増加項目 >			
諸雑費	[0.34]	婚礼関係費,葬儀関係費
教養娯楽サービス	[0.29]	外国パック旅行費,宿泊料
外食	[0.23]	洋食,すし(外食)
保健医療サービス	[0.20]	歯科診療代,内科診療代
野菜・海藻	[0.17]	トマト,キャベツ

注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。

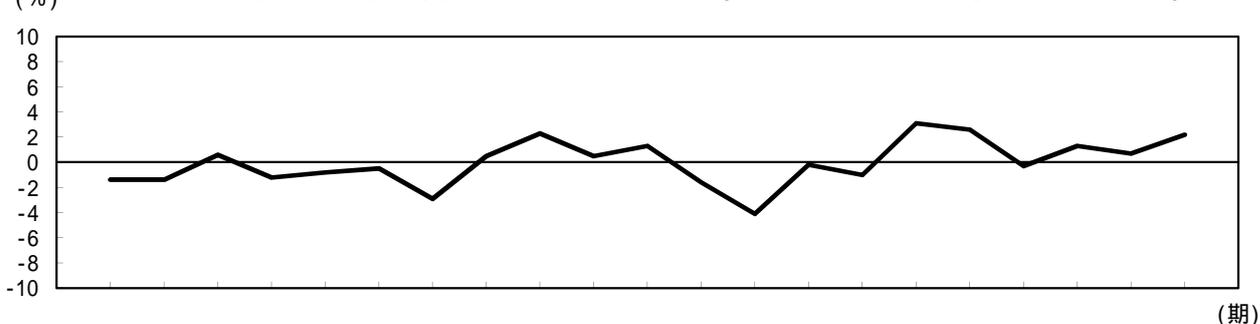
2 交際費の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

2 勤労者世帯の収支

表4 収支の内訳（2013年4～6月期 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
実 収 入	543,752	2.0	2.2	2.2	3期連続の実質増加
世帯主収入	424,390	1.1	1.3	1.01	4期ぶりの実質増加
定期収入	345,647	-0.6	-0.4	-0.26	5期連続の実質減少
臨時収入・賞与	78,743	9.1	9.3	1.26	2期連続の実質増加
配偶者の収入	64,580	9.6	9.8	1.08	7期連続の実質増加
うち女性	64,063	9.8	10.0	1.10	7期連続の実質増加
他の世帯員収入	9,904	5.0	5.2	0.09	3期連続の実質増加
非消費支出	111,831	4.3	-	-	8期連続の増加
可処分所得	431,921	1.4	1.6	-	2期ぶりの実質増加
消費支出	314,954	0.9	1.1	-	6期連続の実質増加
平均消費性向(%)	72.9	(前年同期) 73.3	(ポイント差) -0.4		

図6 実収入の対前年同期実質増減率の推移（二人以上の世帯のうち勤労者世帯）



	2008年			2009年			2010年			2011年			2012年			2013年	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5
実 収 入				2.3	0.5	1.3	-1.6	-4.1	-0.2	-1.0	3.1	2.6	-0.3	1.3	0.7	2.2	

注 は1～3月期， は4～6月期， は7～9月期， は10～12月期を表す。

単身世帯

消費支出とその内訳

表5 消費支出の内訳(2013年4～6月期-単身世帯)

項目	金額 (円)	対前年同期増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	摘要	備考
		名目	実質			
消費支出	150,459	-0.4	-0.2	-0.2		2期ぶりの実質減少
食料	36,843	0.7	2.1	0.52	<増加> 外食,野菜・海藻など	5期ぶりの実質増加
住居	18,022	-5.9	-5.5	-0.70	<減少> 設備修繕・維持	3期ぶりの実質減少
光熱・水道	10,924	2.4	-1.7	-0.12	<減少> 電気代,ガス代	2期連続の実質減少
家具・家事用品	4,665	7.3	10.2	0.29	<増加> 家庭用耐久財,寝具類など	7期連続の実質増加
被服及び履物	6,042	-5.3	-5.4	-0.23	<減少> 履物類,洋服など	5期連続の実質減少
保健医療	6,169	11.3	12.1	0.44	<増加> 保健医療サービス,保健医療用品・器具	4期連続の実質増加
交通・通信	18,725	-6.7	-7.3	-0.98	<減少> 自動車等関係費,通信	2期ぶりの実質減少
教育	30	-	-	-		
教養娯楽	18,087	0.3	2.0	0.24	<増加> 教養娯楽用耐久財,教養娯楽用品	3期連続の実質増加
その他の消費支出	30,951	2.2	(2.4)	(0.47)	<増加> 交際費	2期連続の増加

- 注1 「摘要」欄は、消費支出の実質増減率への寄与度の大きい項目を掲載した。ただし、「その他の消費支出」については名目増減率の大きい項目を掲載した。
 2 「教育」については、詳細な収支項目別の集計を行っていない。また、消費支出全体に占める割合が小さいことから、増減率については掲載していない。
 3 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

消費支出の実質増減率に寄与した主な中分類項目及び品目

中分類 品目

<減少項目>

実質寄与度

設備修繕・維持	[-1.64]	外壁・塀等工事費,設備器具
自動車等関係費	[-1.15]	自動車購入,ガソリン
諸雑費	[-0.26]	たばこ,腕時計
電気代	[-0.23]		

<増加項目>

家賃地代	[0.94]	民営家賃,地代
交際費	[0.73]	贈与金,つきあい費
交通	[0.42]	鉄道運賃,鉄道定期代
外食	[0.32]	飲酒代,和食
教養娯楽用耐久財	[0.31]	カメラ,テレビ
保健医療サービス	[0.30]	医科診療代,歯科診療代

- 注1 主な中分類項目を寄与度順に掲載した。
 2 交際費の実質化には消費者物価指数(持家の帰属家賃を除く総合)を用いた。

< 参考 >

図7 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度 (2013年4～6月期 - 総世帯)

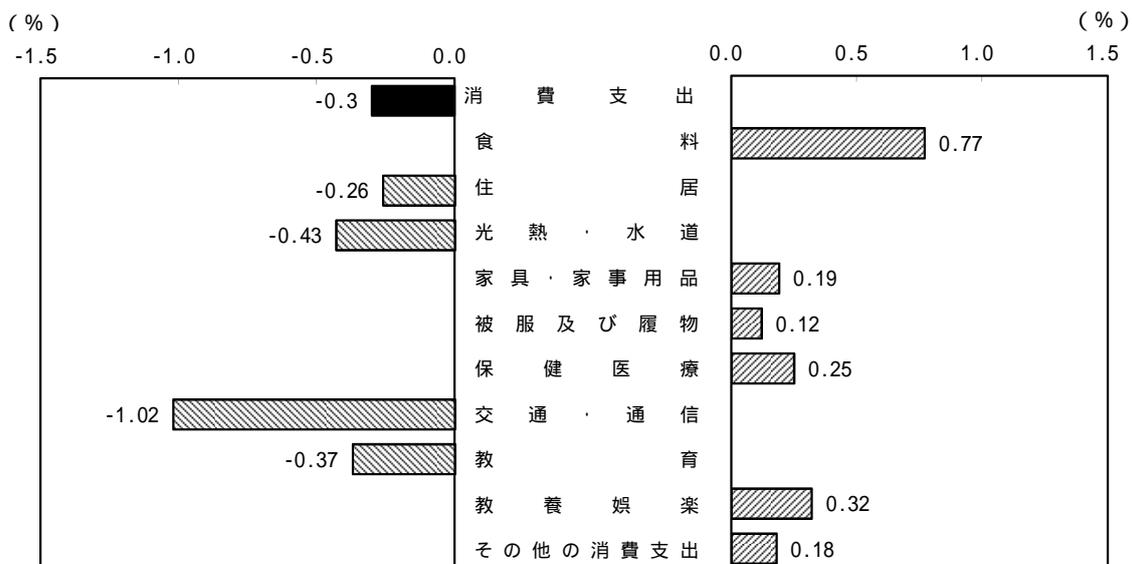


図8 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度 (2013年4～6月期 - 二人以上の世帯)

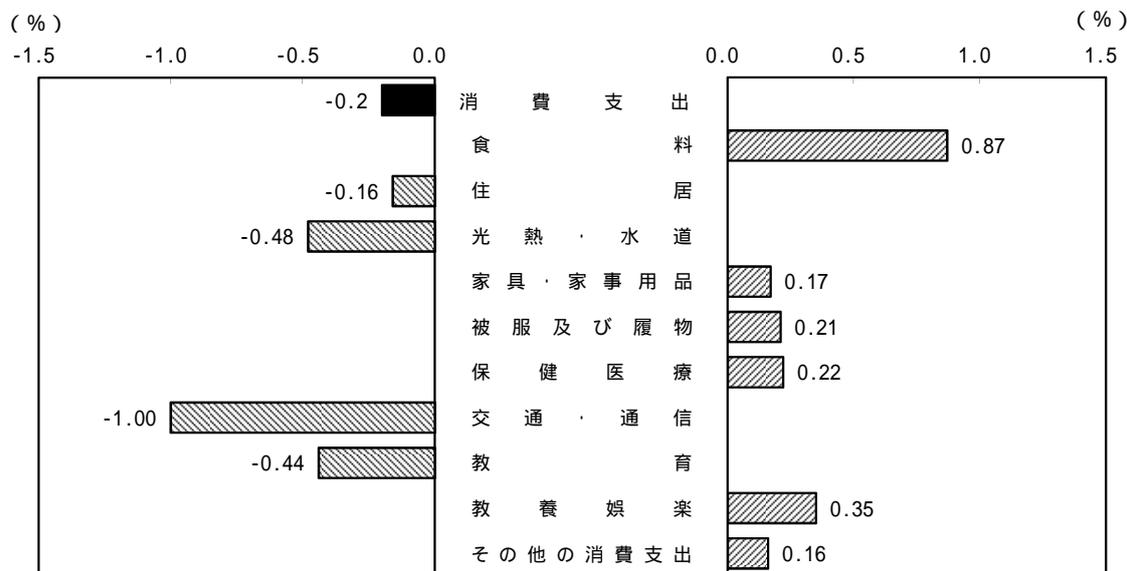
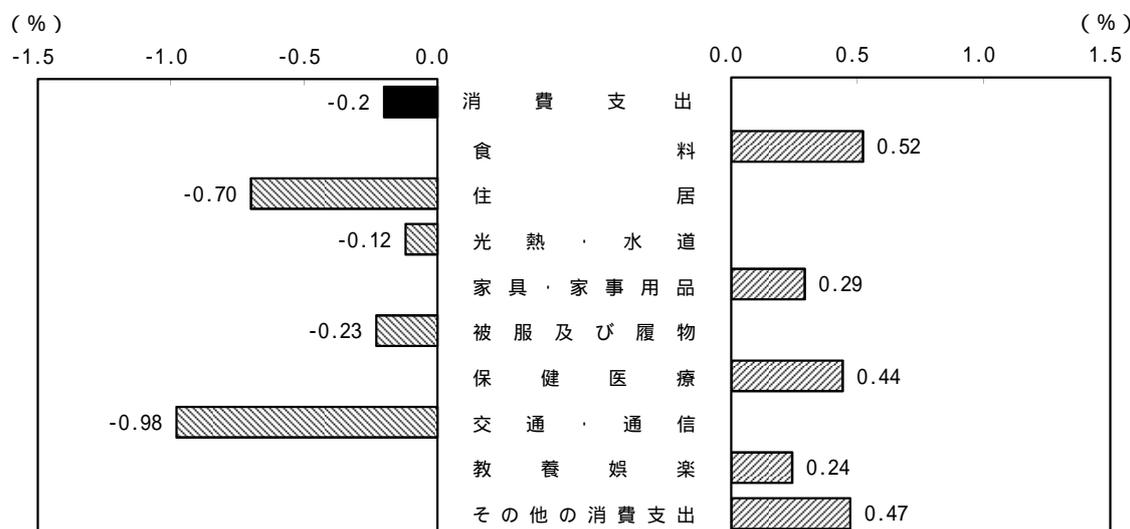


図9 消費支出の対前年同期実質増減率に対する費目別寄与度 (2013年4～6月期 - 単身世帯)



注 「その他の消費支出」の実質化には消費者物価指数（持家の帰属家賃を除く総合）を用いた。